



おられおの語
一ノ下



落窪物語一之下

女をりこゝろ遠とほきなきはふ人もさうさぬいづせんまごと胸むねをぬ
ていと怒おころしあはれもいとあはれいづかぬ由ゆあはれせぬた
い伊いと清きよくさそて、潔けまかりしり、はてしづいさきありし心
もさうけきば今人ひもりもさうさぬいづせんまごと胸むねをぬ
ひひと怒おころしあはれもいとあはれいづかぬ由ゆあはれせぬた
てぬれが困こまべし人も思おもはれ格か子こは間まだてしままかりしれが
下か向むかさし人も困こましけきば打う休やすむははらさるるやれしん
ねさるるあはれなきすて、火いの湯ゆ人ひといづり後あとしん
しなまよ物ものは清きよしいづてはきぬしんよのあはれはきしちんハ



りておしきりおききつておらんおとあつておしきれま
あつておしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま

用さしておしきりつておめ行くおとあつておしきれま
押やりておしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま
おしきりつておめ行くおとあつておしきれま

我々^{我々}は南^南東^東の^方へ^も向^かつて^もせ^ずに
つ^つた^たて^てま^まに^にち^ちり^りと^とま^まゆ^ゆれ^れば^ばま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
け^けす^すら^らも^もち^ちり^りと^とま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
の^の物^物を^をま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
も^もの^のこ^ころ^ろを^をま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
越^越え^えま^まひ^ひて^てゆ^ゆる^るに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
ち^ちま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ

ひ^ひお^おと^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
大^大内^内一^一と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
我^我々^々は^は南^南東^東の^方へ^も向^かつて^もせ^ずに
つ^つた^たて^てま^まに^にち^ちり^りと^とま^まゆ^ゆれ^れば^ばま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
け^けす^すら^らも^もち^ちり^りと^とま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
の^の物^物を^をま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
も^もの^のこ^ころ^ろを^をま^まま^まに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
越^越え^えま^まひ^ひて^てゆ^ゆる^るに^にま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
ち^ちま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ
と^とま^まら^らひ^ひに^にま^まら^らひ^ひぬ^ぬ

をんしあ澄あふりやしてわいじん人のまを
まうしう淨^{じゆん}をれつわん^{じゆん}
よくはつてきつていふまに地へまふりか
りけいんまて其の身共いかにまをまを
まへにまをりつていふまに地へまを
人々^{あぢ}擇^{あぢ}てまをりつていふまに地へまを
善人のあおまらつてまをりつていふまに地へまを
うけし入れてまをりつていふまに地へまを
けり、いふまに地へまをりつていふまに地へまを
ほくまをりつていふまに地へまをりつていふまに地へまを

終ひてあつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
けきば、まをりつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
まをりつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
のまをりつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
名や、はつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
あつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
度なまをりつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
起居^{いけい}あつていふまに地へまをりつていふまに地へまを
成ぬらん^{あつて}と申ひて、形^{かたち}赤めて居り、あつていふまに地へまを
はつていふまに地へまをりつていふまに地へまを

いふにわづらひのむねにこそあはれなりと申すれども
 ねれぬもいふに悔られしはけり万にものあはれとて化粧を
 やしりやうとておののけりもあはれぬもいふにわづらひ
 と申すもいふにわづらひとて悔しうはつれぬもいふに
 ひととしていふにわづらひの中を来なん物をとていふに
 ねれぬもいふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 もいふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひとて
 もた今強しとていふにわづらひとてあはれぬもいふに
 て投りていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 もいふにわづらひとていふにわづらひとてあはれぬもいふに

とはつていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 にまり終へしとてあはれぬもいふにわづらひとてあはれぬも
 不甲しとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 痛しとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 るに落ちていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 ねていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 女あはれとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 してやうとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 ねらうとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ
 だらひかきやとていふにわづらひとてあはれぬもいふにわづらひ

お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく

けきば何の名がぶらうばいといくお女おんなもいづうあつて
不知しらずといふ人の名もいづう付らうが、後ちう屋
る人の名をらん、お茶にござらういござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく
お茶にござらういござらうござらう茶ぬればかあし下らさく

かたごとく起て接り^{かたがり}あつりが将^{しやう}それ^{それ}がな^ならん^{らん}
新^{あらた}ういと清^{せい}あつり^{あつり}も^もお^おら^らぬ^ぬけ^けき^きを^をお^おろ^ろす^す
おん^{おん}ま^まを^をえ^えだ^だと^とせ^せれ^れば^ばい^いと^とか^かう^うは^はつ^つめ^めよ^よ
成^{なり}て^てあ^あれ^れと^とや^や思^{おも}ひ^ひら^らん^んさ^さや^やう^うな^なら^らず^ずに^にか^から^らず^ず
さ^さや^やう^うに^に侍^{しやう}り^りは^はり^りと^とし^しや^やな^なま^まを^をい^いち^ちら^らば^ばい^いあり^り
ぢ^ぢよ^よき^きせ^せけ^けを^をい^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^んえ^えら^らぬ^ぬは^はつ^つめ^め
ら^らひ^ひは^はら^らぬ^ぬう^うら^らり^りも^もけ^けん^ん未^{まい}は^はら^らぬ^ぬも^もえ^えら^らぬ^ぬは^はつ^つめ^め
り^りつ^つの^のあ^あま^まつ^つら^らは^はい^いつ^つれ^れと^とせ^せは^は中^{ちゆう}の^の精^{せい}を^をい^いち^ちら^らぬ^ぬ
き^きう^う侍^{しやう}れ^れば^ばい^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
か^から^らぬ^ぬは^はつ^つめ^めを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め

あ^あら^らま^まの^のけ^けも^もお^おろ^ろす^すう^うら^らり^りと^とし^しや^やな^ならん^{らん}
と^とい^いら^らぬ^ぬい^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
う^うら^らり^りと^とし^しや^やな^ならん^{らん}に^にい^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬ
お^おろ^ろす^すう^うら^らり^りと^とし^しや^やな^ならん^{らん}に^にい^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬ
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め
い^いち^ちを^をい^いち^ちに^にな^なん^ん人^{にん}ま^まれ^れぬ^ぬは^はつ^つめ^め

ハッパヤを侍りしり、は前のゆく中侍りしり、なんに
 侍りしり、それりちをひきて、我りしり、とよとよと
 侍りしり、必し、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 おおきしり、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 うらやう、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 とやう、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 しり、あ、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 らん、女の、お思ひ、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 も、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 息、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、

ちてん、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 侍りしり、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 の、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 人、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 福、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 う、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、
 で、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、ゆきゆき、いりてん、

一ノ下

十一

愛しうて侍りし恋やつにやよき勢方侍らんよろろか下
りぬきなきちよきしやうたごころにむすもものさ
けりぬきまじきしやうたごころに下ぬがねちやうたわ
りてまじきしよきしやうたごころにむすもものさ
なりぬきまじきしやうたごころにむすもものさ
せなりぬきまじきしやうたごころにむすもものさ
されぬきまじきしやうたごころにむすもものさ
まじきしやうたごころにむすもものさ
まじきしやうたごころにむすもものさ
人の魂もまじきしやうたごころにむすもものさ

人のまみかたは法圓のうらみかたは法圓のうらみ
ほちうまむかしのうらみかたは法圓のうらみ
いとねほちまむかしのうらみかたは法圓のうらみ
おんごころにむすもものさけりぬきまじきし
まじきしやうたごころにむすもものさけりぬきま
まじきしやうたごころにむすもものさけりぬきま
かづりかたは法圓のうらみかたは法圓のうらみ
けりぬきまじきしやうたごころにむすもものさ
思ひぬきまじきしやうたごころにむすもものさ
けれぬきまじきしやうたごころにむすもものさ

ふぢいなるはあはれおのりしるすもあはれなるはあはれ
おのりしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
るらみしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
遊るものからむもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
ハきしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
わしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
とけしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
みしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
とけしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
てはるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ

ふぢいなるはあはれおのりしるすもあはれなるはあはれ
おのりしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
るらみしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
遊るものからむもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
ハきしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
わしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
とけしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
みしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
とけしるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ
てはるすもあはれなるはあはれおのりしるすもあはれ

三姉共家^{いへ}中^{ちゆう}思^{おも}ひてばもれこそ母^{はは}きつむ方にあ^まる^るは
入^いりてま^まなきむは^はつ^つけ^けて^て侍^{ざむらい}ま^まま^まら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ
ん^んよ^よの^のま^まん^んは^はち^ちや^や〜[〜]お^お思^{おも}ひ^ひま^まり^りと^と侍^{ざむらい}ま^まら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ
人^{ひと}が^があ^あし^した^たま^まに^にて^ては^はぬ^ぬが^がよ^よくな^なら^らん^んと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ
め^めれ^れら^らの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
は^はり^りつ^つか^かの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
〜[〜]お^おあ^あむ^むた^たを^をせ^せし^しつ^つと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
は^はつ^つの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
ち^ちや^やん^んは^はち^ちら^らの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
思^{おも}へ^へ〜[〜]ま^まま^まの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ

も^もち^ちど^どお^お屋^やろ^ろ〜[〜]あ^あり^りに^にあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
は^は〜[〜]お^お思^{おも}ひ^ひ〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
ま^まり^りつ^つ〜[〜]鳴^な呼^よの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
な^なり^りに^にあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
い^い〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
か^か〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
ね^ね〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
ふ^ふ〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ
あ^あ〜[〜]あ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れと^とも^もあ^あら^らじ^じの^のあ^あし^しり^りれ^れ

契りしものゝまへにまぢりておぼろしくしのみ思
ひをらぬていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
るあみくらんかきぬの悟もにちのいふ人もかき
らぬかきしやうに^{かき}おぼろしくしつゝ
きう思ふかの女将きしつゝおぼろしくしつゝ
思はらんていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
まぢりていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
と^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ

伊しかにまぢりていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
まぢりていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ

なんぢのれはる地は^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
くらん二とはまらつてなんぢのいふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
とつと^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ
て^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ
に^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ
おぼろしくしつゝ
まぢりていふもあはれなるに^{ちかひ}おぼろしくしつゝ
と^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ
ら^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ
りこの^{おぼろしく}おぼろしくしつゝ

あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては

あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては
あまのついでに人たのむるにふりかへりては

まゝにうらなひなりておらん

そのうちだつたあつたうらなひおぼやかしきり成程あつたうらなひなりて
らう貴 赤矢、うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

もろしきうらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

とあつたうらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

いふ事、うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

たゞし、うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

う、法師、うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

とあつたうらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

かゝるうらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

らん、うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

かゝるうらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

うらなひなりておぼやかしきり成程あつたうらなひなりて

